

第 2 5 3 回 役 員 会 議 事 録 ( 要 録 )

平成 2 8 . 1 1 . 2 9 ( 火 ) 1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 2 6

場 所 : 法 人 本 部 棟 5 F 2 会 議 室

出 席 者	越智, 宮谷, 相田, 佐藤, 吉田, 高田, 平川, 片山 以上役員 8 名
欠 席 者	
オブザーバー	野上, 高橋, 渡邊, 江坂, 西谷, 寺本, 神谷, 坂越, 竹内, 河村, 佐々本
<p>( 前 回 議 事 録 ( 要 録 ) の 確 認 )</p> <p>( 議 事 )</p> <p>1 . 就 業 規 則 等 の 改 正 に つ い て ----- 別 紙 1 ( 学 長 提 案 ・ 片 山 理 事 ( 財 務 ・ 総 務 担 当 ) 説 明 )</p> <p>年 俸 制 職 員 ( 大 学 教 員 ) の 給 与 制 度 の 見 直 し 及 び 人 事 院 勧 告 へ の 対 応 並 び に 広 島 県 の 最 低 賃 金 の 改 定 へ の 対 応 に 伴 う 就 業 規 則 等 の 改 正 に つ い て 提 案 ・ 説 明 が あり , 審 議 の 結 果 , 原 案 の と お り 承 認 の 上 , 本 日 付 け で 制 定 し , 平 成 2 8 年 1 2 月 1 日 か ら 施 行 ( う ち 一 部 は , 平 成 2 8 年 1 0 月 1 日 適 用 ) す る こ と と し た .</p> <p>2 . 平 成 2 8 年 度 の 教 員 人 事 ( 臨 床 系 以 外 ) ( 選 考 ) に つ い て ----- 別 紙 2 ( 学 長 提 案 ・ 坂 越 人 事 委 員 会 委 員 長 説 明 )</p> <p>平 成 2 8 年 度 の 教 員 人 事 の う ち , 部 局 の 教 授 会 で の 議 を 経 て , 適 任 者 と し て 報 告 の あ っ た 候 補 者 1 名 に つ い て , 人 事 委 員 会 で の 審 議 結 果 を 踏 ま え て 検 討 し た 結 果 , 適 任 と 認 め る 旨 の 提 案 ・ 説 明 が あり , 審 議 の 結 果 , 原 案 の と お り 1 名 の 人 事 に つ い て 承 認 し た .</p> <p>3 . 平 成 2 8 年 度 全 学 調 整 分 ( 女 性 教 員 採 用 支 援 分 ) に よ る 女 性 教 員 の ポ ス ト ア ッ プ ( 選 考 ) に つ い て ----- 別 紙 3 ( 学 長 提 案 ・ 坂 越 人 事 委 員 会 委 員 長 説 明 )</p> <p>平 成 2 8 年 度 全 学 調 整 分 ( 女 性 教 員 採 用 支 援 分 ) に よ る 女 性 教 員 の ポ ス ト ア ッ プ に つ い て , 部 局 の 教 授 会 で の 議 を 経 て , 適 任 者 と し て 報 告 の あ っ た 候 補 者 1 名 に つ い て , 人 事 委 員 会 で の 審 議 結 果 を 踏 ま え て 検 討 し た 結 果 , 適 任 と 認 め る 旨 の 提 案 ・ 説 明 が あり , 審 議 の 結 果 , 原 案 の と お り 1 名 の 人 事 に つ い て 承 認 し た .</p> <p>4 . 平 成 2 9 年 度 教 員 措 置 ( 特 別 事 情 ) に 関 す る 発 議 の 可 否 に つ い て ----- 別 紙 4 ( 学 長 提 案 ・ 坂 越 人 事 委 員 会 委 員 長 説 明 )</p> <p>平 成 2 9 年 度 教 員 措 置 ( 特 別 事 情 ) に つ い て , 人 事 委 員 会 で の 審 議 結 果 を 踏 ま え て 検 討 し た 結 果 , 教 授 1 件 の 人 員 措 置 の 発 議 を 認 め る こ と に つ い て 提 案 ・ 説 明 が あり , 審 議 の 結 果 , 原 案 の と お り 承 認 し た .</p> <p>5 . 任 期 を 定 め て 任 用 す る 教 員 の 再 任 審 査 等 に つ い て ----- 別 紙 5 ( 学 長 提 案 ・ 坂 越 人 事 委 員 会 委 員 長 説 明 )</p>	

任期を定めて任用する教員の再任審査等に関して、部局等の教授会での議を経て報告のあった候補者14名について、人事委員会での審議結果を踏まえて検討した結果、再任の可否及びテニユア審査結果が適当と認める旨の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり14名の再任について承認した。

(報告)

1. 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について ----- 資料1  
(学長報告)

平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、国立大学法人評価委員会から通知があった旨、報告があった。

- ・ 全体評価としては、目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、「STARTプログラム」や「日本語・日本文化特別研修」の対象国を拡大するとともに、学内研究拠点における国際共同研究を増加させるための取組を実施し、国際展開の多様化を図るなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められるとされた。
- ・ 項目別評価としては、「財務内容の改善」、「自己点検・評価及び情報提供」、「その他業務運営」に関しては、「順調に進んでいる。」とされたが、「業務運営の改善及び効率化」に関しては、大学院専門職学位課程において学生収容定員の充足率が90%を満たさなかったことを総合的に勘案されたことにより、「おおむね順調に進んでいる。」とされた。

2. 国際室に配属する准教授について ----- 資料2  
(学長報告)

本学における「3+1プログラム」に係る業務の強化、充実を図るため、12月1日付けで国際室に准教授1名を配属換することについて報告があった。

3. 職員の人事について ----- 資料3  
(片山理事(財務・総務担当)報告)

12月1日付けで実施する職員の人事異動について報告があった。

以上(資料添付略)